

令和5年度学力検査問題

社 会

注意

- 1 監督者の開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。
- 3 解答は、全て解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 4 解答用紙の※印の欄には、何も記入しないでください。
- 5 監督者の終了の合図で筆記用具を置き、解答面を下に向け、広げて机の上に置いてください。
- 6 解答用紙だけを提出し、問題冊子は持ち帰ってください。

1

優子さんは、わが国の20世紀前半までの各時代の特色について調べ、略年表とカードを作成した。略年表とカードをみて、各問に答えよ。

〈略年表〉

世紀	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
時代	ア				イ				ウ				エ		

〈カード〉

A 武家による支配が始まり、やがてその支配が全国に広がった。また、土倉や酒屋があらわれ、富をたくわえるようになった。

B ①律令に基づいた政治が行われ、やがて摂関政治がさかんになった。また、貴族や寺社が荘園をもちはじめた。

C ②中央集権国家のしくみが整えられ、やがて議会政治が始まった。また、一部の資本家は財閥に成長していった。

D 幕府と藩による支配が行われたが、やがてその支配が揺らいだ。また、商品作物が栽培され、貨幣経済が広がり、**P**手工業が発達した。

問1 カードA～Dは、略年表のA～Eのいずれかの時代にあてはまる。カードA、Dはどの時代にあてはまるか。A～Eからそれぞれ一つ選び、記号を書け。

問2 下線部①、②について述べた下の□内の(イ)、(ロ)にあてはまるものを、次の1～5からそれぞれ一つ選び、番号を書け。

- ① 中央から派遣された(イ)が、郡司を指揮して政治を行った。
 ② 中央から派遣された(ロ)などが、地方を統治した。

- 1 大名 2 守護 3 県令 4 国司 5 地頭

問3 下の□内は、略年表のA～Eのいずれかの時代の文化の特色について説明したものである。この文化の特色があらわれる時代を、A～Eから一つ選び、記号を書け。

国際色豊かな文化が栄えた後に、日本の風土や生活に合った文化が生まれ、かな文字がつけられた。

問4 下の□内は、カードA～Dのいずれかと同じ時代の社会の様子について、右の資料をもとにまとめたものである。(ハ)、(ニ)にあてはまる語句を正しく組み合わせたものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。また、〔ホ〕にあてはまる内容を、「分割」と「領地」の語句を使って書け。

〈資料〉



(宮内庁蔵)

わが国は、(ハ)の皇帝である(ニ)から服属を要求されたが、わが国が要求を拒否したため、(ハ)軍が襲来した。このできごとの後の幕府からの恩賞が不十分だったことや、〔ホ〕ことなどで、御家人の生活が苦しくなったため、幕府は徳政令を出した。

- 1 (ハ)は宋、(ニ)はチンギス＝ハン 2 (ハ)は元、(ニ)はフビライ＝ハン
 3 (ハ)は元、(ニ)はチンギス＝ハン 4 (ハ)は宋、(ニ)はフビライ＝ハン

問5 略年表のZの期間にあてはまるできごとを、次の1～4から三つ選び、選んだできごとを年代の古い方から順に並べ、番号で答えよ。

- 1 アメリカと条約を結び、下田など2港の開港を認めた。
 2 東南アジアの国々に朱印船を派遣して、貿易を行った。
 3 倭寇と正式な貿易船を区別するため、勘合を用いた貿易を始めた。
 4 ポルトガル船の来航を禁止し、次いでオランダ商館を出島に移した。

問6 下の□内は、優子さんが、下線部Pについてまとめたものである。〔 〕にあてはまる内容を、「分業」の語句を使って書け。

わが国では、この時代に、一部の地主や商人が道具をそろえ、工場に〔 〕という、工場制手工業が生まれた。

2

太郎さんは、わが国の世界遺産について調べ、カードにまとめた。カードをみて、各問に答えよ。

〈カード〉

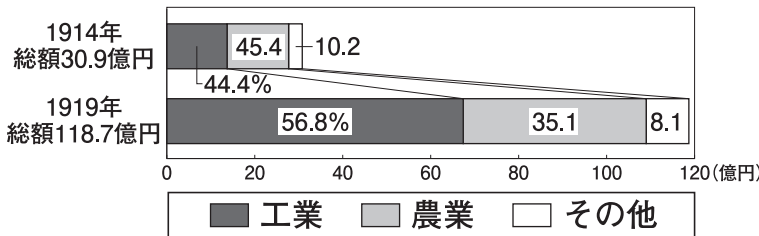
<p>① <u>富岡製糸場</u></p> <p>○ (A) 県富岡市</p> <p>○ 西洋技術を導入した官営模範工場で、新技術の開発と普及に貢献。</p>	<p>明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業</p> <p>官営八幡製鉄所</p> <p>○ 福岡県北九州市</p> <p>○ 鉄鋼などを生産することで、その後の②産業の発展に貢献。</p>	<p>原爆ドーム</p> <p>○ 広島県広島市</p> <p>○ 被爆当時の姿を伝え、④国際平和の大切さを訴えることに貢献。</p>
<p>○ 三池炭鉱・三池港</p> <p>○ 福岡県大牟田市等</p> <p>○ 石炭の生産を増やし、③エネルギー面から産業の発展に貢献。</p>		

問1 下の□内は、下線部①についてまとめたものである。①の()にはあてはまるものを、☐の()にはカードの(A)にあてはまるものを、それぞれ一つ選び、記号を書け。

富岡製糸場は、わが国の輸出品の中心であった①(a 綿糸, b 生糸)を増産するために、☐(c 群馬, d 長崎)県に建てられた。

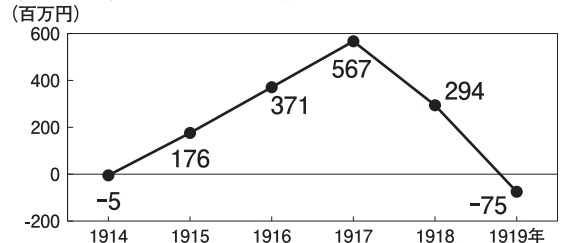
問2 下の□内は、下線部②について、資料I、IIをもとにまとめたものである。㉠、㉡の()にあてはまるものを、それぞれ一つ選び、記号を書け。

〈資料I〉わが国の生産総額とその内訳



(「日本資本主義発達史年表」から作成)

〈資料II〉わが国の貿易収支の変化



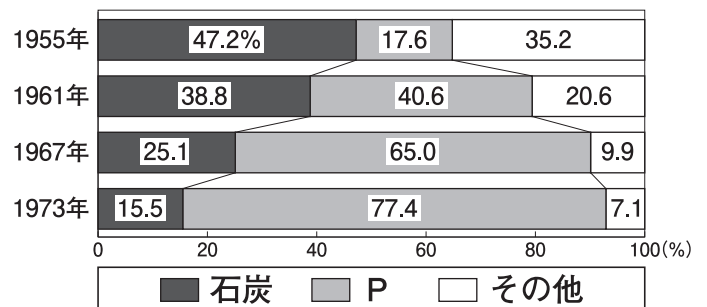
(第7版「数字でみる日本の100年」から作成)

第一次世界大戦の影響で、資料Iの工業と農業の生産額ののびを比較すると、わが国では、1914年から1919年にかけて、特に㉠(ア 工業, イ 農業)が大幅にのびたことが読み取れ、資料IIから、1915年から1918年のころのわが国は、㉡(ウ 好景気, エ 不景気)であったことがわかる。

問3 下の□内は、下線部③についてまとめたものである。〔 〕にあてはまる内容を、資料IIIのPが示す語句を使って書け。

資料IIIの時期に、わが国におけるエネルギー資源の中心が、〔 〕ことがわかる。

〈資料III〉わが国のエネルギー資源の供給割合の推移



(第7版「数字でみる日本の100年」から作成)

問4 下線部④について、㉠群のあ～うと最も関係の深いものを、㉡群のx～zからそれぞれ一つ選び、記号を書け。

- ㉠群
- あ 冷戦の終結が宣言された。
 - い 国際連合が設立された。
 - う アジア・アフリカ会議が開かれた。

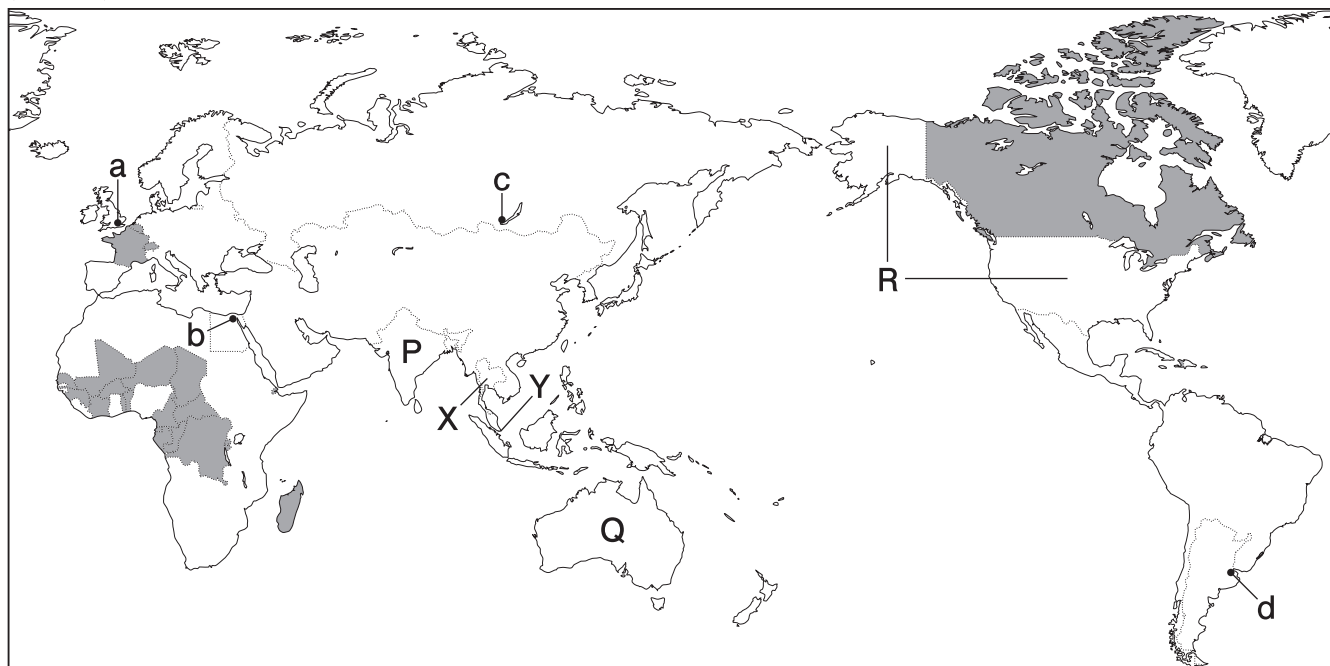
- ㉡群
- x 平和維持活動(PKO)の実施
 - y バンドンで平和共存の路線を確認
 - z 東西ドイツの統一

3

光一さんは、世界の州や国の特色などについて調べるため、資料集を作成した。資料集をみて、各問に答えよ。

〈資料集〉

〈略地図〉



〈資料Ⅰ〉 各国のエネルギー消費量、一人あたりエネルギー消費量、石炭の自給率（2019年）

項目 国	エネルギー消費量 (石油換算 百万t)	一人あたり エネルギー 消費量 (石油換算 t)	石炭の 自給率 (%)
あ	2 213	6.7	144.8
い	415	3.3	0.4
う	129	5.1	1 351.8
え	938	0.7	72.9

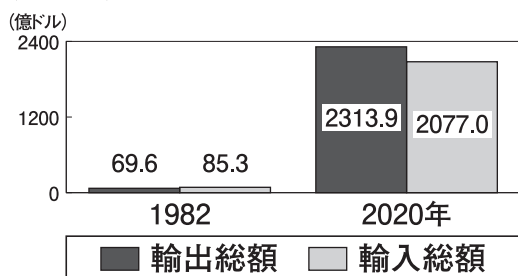
(2022年版「エネルギー・経済統計要覧」等から作成)

〈資料Ⅲ〉 X, Yの国に進出した日本企業数（製造業）

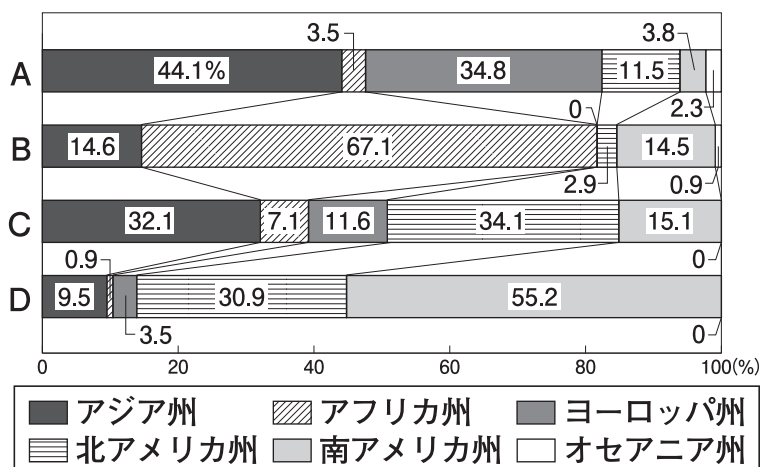
年 国	1982年(社)	2020年(社)
X	171	1 324
Y	211	203

(「海外進出企業総覧2021」等から作成)

〈資料Ⅴ〉 Xの国の輸出総額と輸入総額

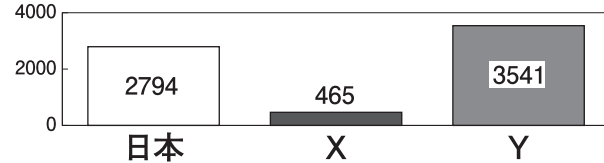


〈資料Ⅱ〉 おもな農産物の州別生産量の割合（2019年）



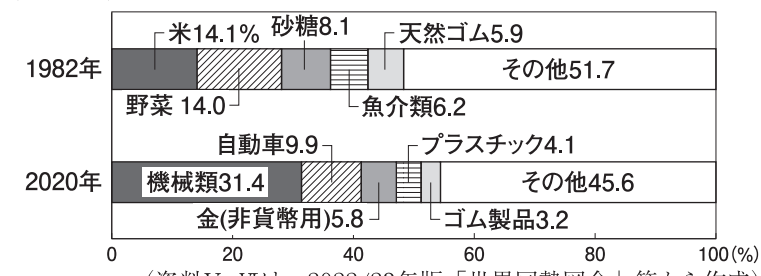
(2022年版「データブック オブ・ザ・ワールド」から作成)

〈資料Ⅳ〉 日本, X, Yの国の一人あたり1か月平均賃金（製造業）（2020年）



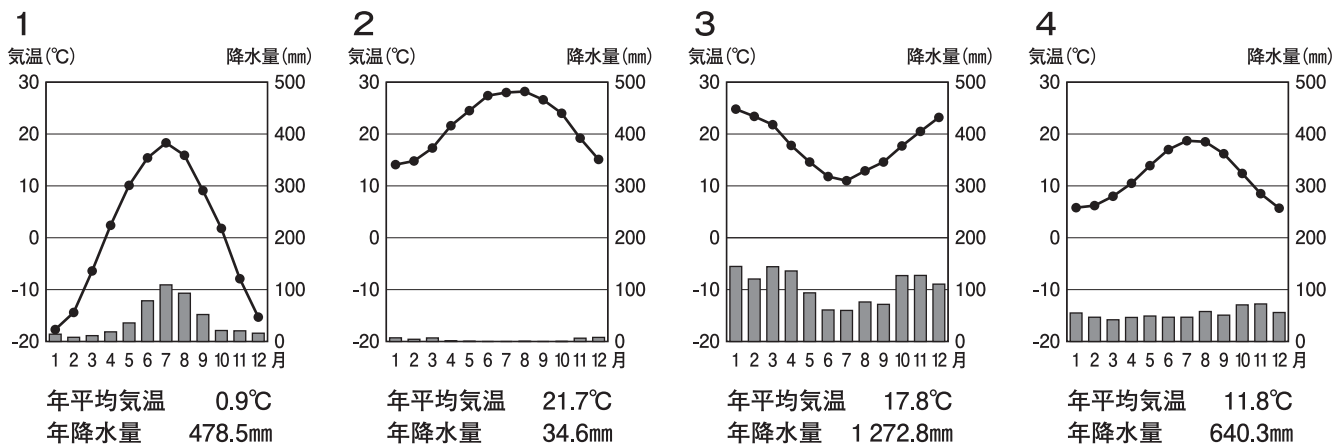
(「世界の統計2022」から作成)

〈資料Ⅵ〉 Xの国の輸出総額の内訳



(資料Ⅴ, Ⅵは、2022/23年版「世界国勢図会」等から作成)

問1 次の1～4は、略地図のa～dのいずれかの都市の雨温図である。aの都市の雨温図を、1～4から一つ選び、番号を書け。



(令和3年「理科年表」から作成)

問2 略地図の●で示された国々において、共通して公用語となっている言語名を書け。

問3 資料Iのあ～えは、略地図のP～Rの国および日本のエネルギー消費量、一人あたりエネルギー消費量、石炭の自給率を示している。Qの国にあてはまるものを、あ～えから一つ選び、記号を書け。

問4 資料IIのA～Dは、小麦、とうもろこし、大豆、カカオ豆のいずれかの州別生産量の割合を示している。小麦にあてはまるものを、A～Dから一つ選び、記号を書け。

問5 略地図のXの国について、(1)、(2)に答えよ。

(1) 資料IIIは、略地図のX、Yの国に進出した日本企業数（製造業）を示し、資料IVは、日本とX、Yの国の一人あたり1か月平均賃金（製造業）を示している。資料IIIにみられる変化の理由の一つを、資料IVから読み取り、「Xの国では、」の書き出しで書け。

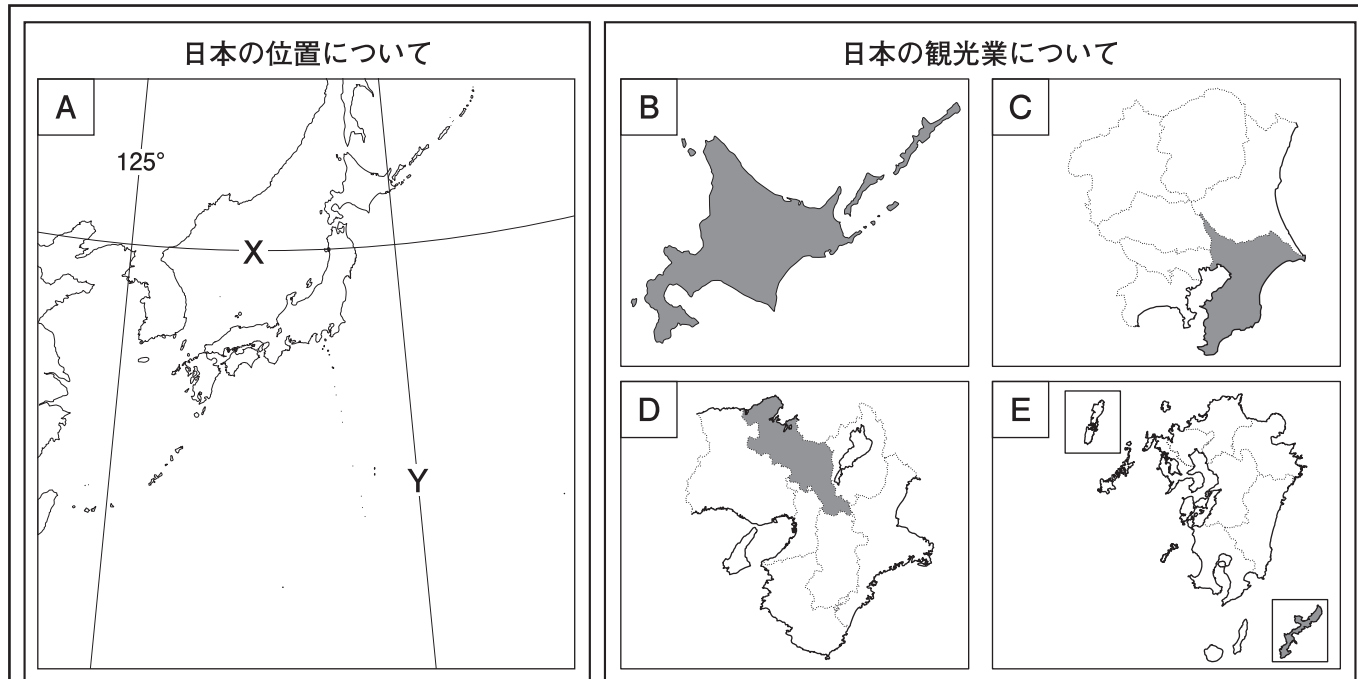
(2) 下の□内は、光一さんが、資料V、VIから、略地図のXの国についてまとめたものである。〔㊶〕、〔㊷〕にあてはまる内容を、資料から読み取って書け。

資料Vから、Xの国の輸出総額と輸入総額の変化をみると、〔㊶〕ことがわかる。また、資料VIから、〔㊷〕ことがわかる。このような変化が、Xの国の経済の成長や発展につながった理由の一つと考えられる。

4

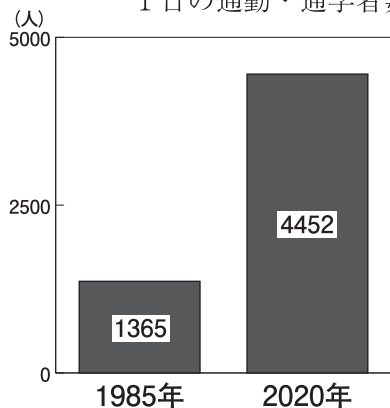
千春さんは、日本の様々な地域の特徴について調べ、資料集を作成した。資料集をみて、各問に答えよ。

〈資料集〉

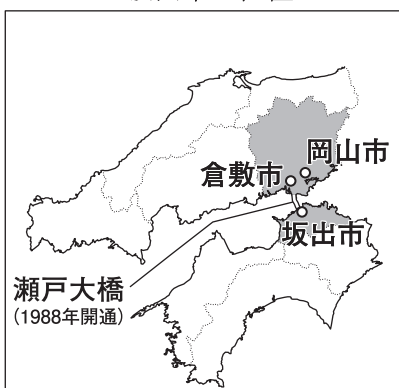


中国・四国地方の交通の特色について

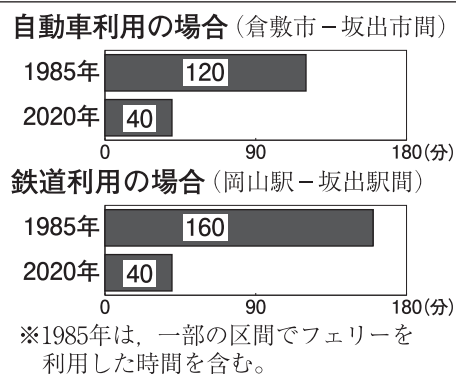
〈資料Ⅰ〉 岡山県－香川県間の
1日の通勤・通学者数



〈資料Ⅱ〉 倉敷市、岡山市、
坂出市の位置



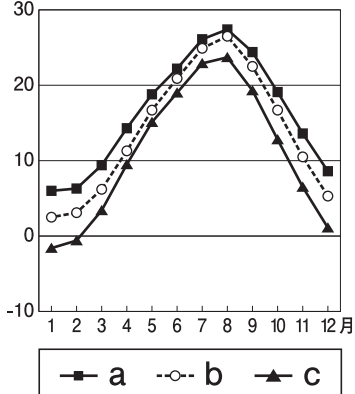
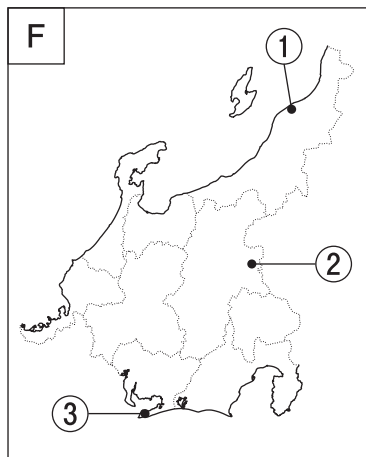
〈資料Ⅲ〉 岡山県－香川県間の
移動時間の変化



(資料Ⅰ～Ⅲは、本四高速ホームページ等から作成)

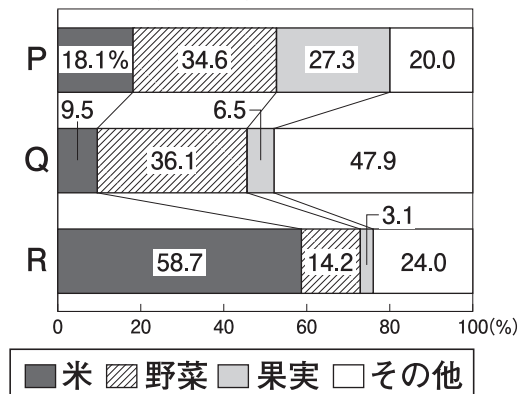
中部地方の気候と農業の特色について

〈資料Ⅳ〉 ①～③の地点の
月別平均気温



(気象庁ホームページから作成)

〈資料Ⅴ〉 3県の農業産出額の内訳
(2018年)



(2021年版「データでみる県勢」から作成)

(略地図A～F、資料Ⅱの図法、縮尺は同じではない。)

問1 略地図Aについて、Xは緯線、Yは経線を示す。Xの緯度とYの経度とを正しく組み合わせたものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

- 1 Xは北緯50度、Yは東経145度 2 Xは北緯50度、Yは東経155度
 3 Xは北緯40度、Yは東経145度 4 Xは北緯40度、Yは東経155度

問2 表のA～Eは、略地図B～Eの地方のうち、●で示す道府県のいずれかである。表のイにあてはまる道府県を含む地方を、B～Eから一つ選び、記号を書け。

〈表〉

道府県	項目	人口 (万人)	国際線 航空旅客輸送数 (十万人)	宿泊施設での のべ宿泊者数 (十万人)	温泉地数	国宝指定件数 (件)
		2017年	2017年	2017年	2017年	2023年
A		625	147	246	91	4
イ		532	19	356	244	1
ウ		144	19	217	9	2
E		260	—	189	40	237

(文化庁ホームページ等から作成)

問3 中国・四国地方の交通の特色について、資料Iのような変化がみられる理由の一つを、資料II、IIIから読み取って書け。

問4 中部地方の気候と農業の特色について、資料IVのa～cは、略地図Fの①～③のいずれかの地点の月別平均気温を示している。また、資料VのP～Rは、略地図Fの①～③の地点が含まれるいずれかの県の農業産出額の内訳を示している。(1)、(2)に答えよ。

(1) 略地図Fの②、③の地点の月別平均気温を示すものを、資料IVのa～cからそれぞれ一つ選び、記号を書け。

(2) 下の□内は、千春さんが、中部地方の農業の特色についてまとめたものである。(あ)にあてはまるものを、資料VのP～Rから一つ選び、記号を書け。また、〔い〕にあてはまる内容を、資料Vから読み取れることと、「都市」の語句を使って書け。

中部地方は、大きく三つの地域に分けられており、農業にもそれぞれ特色がみられる。略地図Fの③の地点を含む県の農業産出額の内訳を示すものは(あ)である。略地図Fの③の地点を含む県の農業の特色の一つは、〔い〕ことである。

5

健一さんと洋子さんの学級では、公民的分野で学んだことについて、班ごとにテーマを決めて発表するため、調べた内容の一部を発表原稿にまとめた。発表原稿をみて、各問に答えよ。

〈発表原稿〉

<p>1班</p> <p style="text-align: center;">テーマ 地球環境問題と国際協力</p> <p>①地球温暖化など地球規模の環境問題を世界共通の課題としてとらえ、国や地域などが連携して国際的な枠組みをつくり、それが守られるよう努力することが必要です。</p>	<p>2班</p> <p style="text-align: center;">テーマ 日本国憲法の基本的原理</p> <p>日本国憲法の前文には、この憲法が制定された理由や目的が書かれています。ここから、日本国憲法は、国民主権、②基本的人権の尊重、平和主義の三つを基本的原理としていることがわかります。</p>
<p>3班</p> <p style="text-align: center;">テーマ 国会、内閣、裁判所の役割</p> <p>日本では、国会が法律の制定や③予算の審議などを行い、内閣が国の内政や外交の基本方針を検討し、決定します。また、争いや事件を法に基づいて解決する役割を④裁判所が担っています。</p>	<p>4班</p> <p style="text-align: center;">テーマ 日本経済における日本銀行と政府の役割</p> <p>⑤日本銀行は日本の中央銀行として、通貨の量を調整して、景気や物価の安定を図る金融政策を行い、政府は⑥歳入や歳出を通じて、景気の安定を図る財政政策を行っています。</p>

問1 下の□内は、下線部①についてまとめたものである。①の()にあてはまるものを一つ選び、記号を書け。また、〔 ⊙ 〕にあてはまる内容を書け。

1997年に地球温暖化の問題について、①(あ 京都議定書, い パリ協定)が採択され、その中で、先進国に〔 ⊙ 〕の削減を義務づけることが定められた。

問2 下の□内は、下線部②についてまとめたものである。Ⓐ, ⊖の()にあてはまるものを、それぞれ一つ選び、記号を書け。

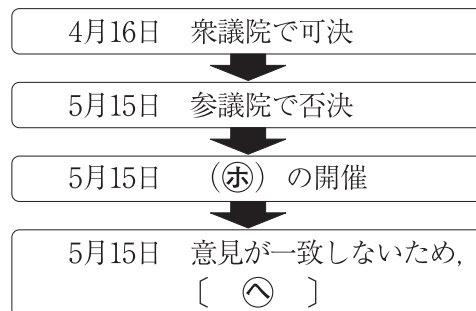
人は、一人一人がかけがえのない存在であり、日本国憲法の第13条において、すべて国民は、Ⓐ(A 個人, B 主権者)として尊重されるとされているが、その実現のためには、社会的身分や性別などを理由とした差別を禁止し、日本国憲法の第14条に示される⊖(C 請願権, D 平等権)を保障することが必要である。

問3 下線部③について、下の□内は、健一さんと、洋子さんが、資料Iをもとに会話した内容の一部である。(⊕)にあてはまる語句を書け。また、〔 ⊗ 〕にあてはまる内容を、「国会」の語句を使って書け。ただし、同じ記号は同じ語句を示している。

洋子： 衆議院で可決された後、参議院で否決された場合、予算案の審議は、どのような結果になるのかな。

健一： 衆議院と参議院の議決が異なった場合、(⊕)が開催されることになっているよ。資料Iの場合は、参議院で予算案が否決された日と同じ日に、(⊕)が開催されたけど、意見が一致しないため、〔 ⊗ 〕になるね。

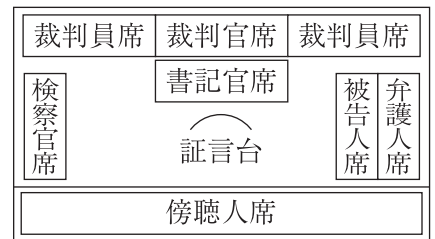
〈資料I〉ある年の国会における
予算案の審議



(衆議院ホームページから作成)

問4 下線部④について、下の□内は、健一さんと、洋子さんが、図Iをもとに会話した内容の一部である。⒑、⒒の()にあてはまるものをそれぞれ一つ選び、記号を書け。また、〔 ⒓ 〕にあてはまる内容を、「有罪か無罪か」と「刑罰」の語句を使って書け。

〈図I〉



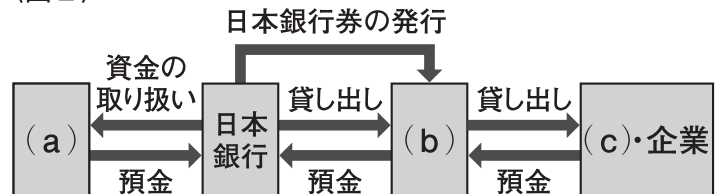
健一： 図Iは、⒑（ア 民事，イ 刑事）裁判の、⒒（ウ 第一審，エ 第二審）の法廷の様子であることがわかるよ。

洋子： 図Iに示される，裁判員制度は，2009年から実施されているね。この制度はどのようなしくみと目的で導入されるようになったのかな。

健一： 国民の中から選ばれた裁判員が，裁判官とともに，〔 ⒓ 〕というしくみだよ。この制度は，裁判を国民にとって身近なものにして，裁判への信頼を深めていくことを目的の一つとしているよ。

問5 下線部⑤について、健一さんは、〈図II〉

日本銀行のはたらきについて調べるため、図IIを作成した。図IIの(a)～(c)には、家計、政府、銀行のいずれかがあてはまる。図IIの(a)，(b)にあてはまる語句をそれぞれ書け。



問6 下線部⑥について、健一さんは、表、資料IIを作成した。(1)，(2)に答えよ。

(1) 表は、歳入のうち、税金についてまとめたものである。表の(あ)～(え)にあてはまる語句のうち、二つを正しく組み合わせたものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

〈表〉

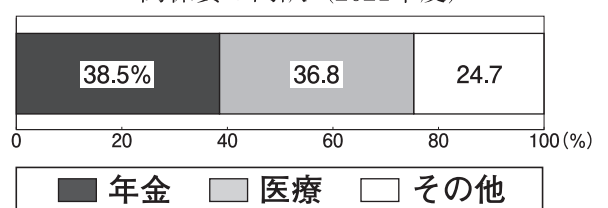
納め方の違い	(あ)	(い)
納付先の違い	(う)	(え)
	(例) 所得税 法人税	(例) 消費税 関税
	(例) 自動車税	(例) ゴルフ場利用税

- 1 ①は直接税，②は地方税 2 ③は直接税，④は国税
3 ①は間接税，②は国税 4 ③は間接税，④は地方税

(2) 下の□内は、健一さんが、わが国の歳入と歳出についてまとめたものである。〔 X 〕にあてはまる内容を書け。また、(Y)にあてはまる語句を、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

2021年度のわが国の歳入は、〔 X 〕を目的に発行される国債の額の割合が約4割を占めており、わが国の歳出は、社会保障関係費が最も大きな割合を占めている。資料IIから、わが国の歳出における社会保障関係費の内訳で最も大きな割合を占めているのは、社会保障制度の柱のうち、(Y)に関するものであることがわかる。

〈資料II〉 わが国の歳出における社会保障関係費の内訳 (2021年度)



(厚生労働省ホームページから作成)

- 1 社会福祉 2 公的扶助 3 公衆衛生 4 社会保険

6

下の□内は、由紀さんと健太さんが、「地域の活性化に向けて」というテーマで会話した内容の一部である。会話文を読み、各問に答えよ。

由紀： わが国の人口について調べてみると、東京、(ア)、名古屋の三大都市圏や地方の大都市を中心に人口が集中する一方、山間部や離島を中心に人口が減少しているところがあるね。人口の減少は、教育や医療、防災などの地域社会を支える活動が困難になる過疎につながるよ。

健太： そうだね。例えば、資料Ⅰから、全国と東京都の年齢別人口割合を比べると、東京都は、[イ]の割合が高いね。また、全国とA町を比べると、A町は、[ウ]の割合が高いことから、A町では、労働力が減少していくことが考えられるよ。課題の解決に向け、どのような取り組みを行っているのかな。

由紀： A町では、資料Ⅱのような取り組みを行い、成果を上げているよ。資料Ⅱのような取り組みを行うことで、[エ]ができているのだね。

健太： このような取り組みを他の地域でも進めていくために大事なことは何かな。

由紀： 地域の様々な立場の人たちが、協力して取り組んでいくことが大事ではないかな。そのことが、地域の活性化に結びつくと考えられるよ。

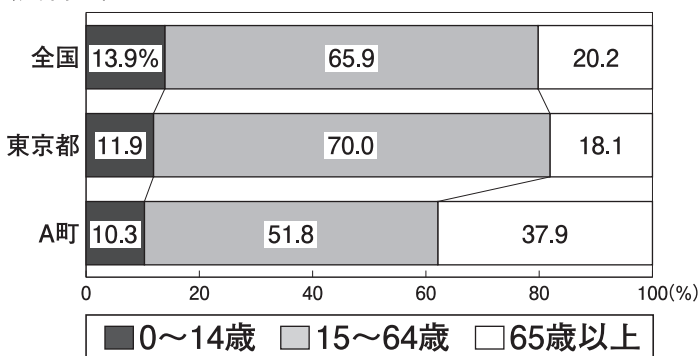
問1 会話文の(ア)にあてはまる語句を書け。

問2 会話文の[イ]、[ウ]にあてはまる内容を、資料Ⅰから読み取って書け。

問3 会話文の[エ]にあてはまる内容を、資料Ⅱ～Ⅳから読み取れることを関連づけて、「雇用」の語句を使って書け。

〈資料集〉

〈資料Ⅰ〉全国、東京都、A町の年齢別人口割合(2005年) 〈資料Ⅱ〉2005年以降のA町での取り組み

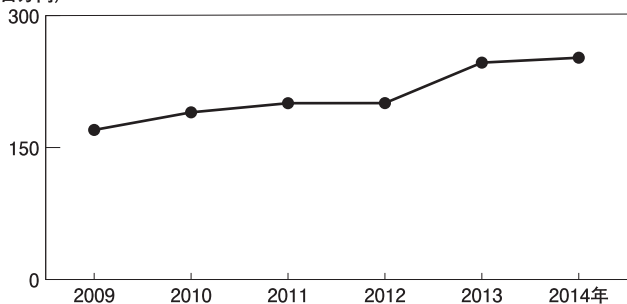


(総務省ホームページから作成)

- 商品開発や販売のため、町役場が中心となって出資し、企業を立ち上げる。
- 町役場や地元の漁師、農家が協力して、A町の海産物や農産物を使用した加工食品などの開発や生産を行い、地元の市場に出荷するだけでなく、直接、大都市の小売業者に販売する。

(内閣府ホームページから作成)

〈資料Ⅲ〉A町の加工食品などの商品の売上高の推移(百万円)



(関係地方公共団体資料から作成)

〈資料Ⅳ〉A町の農林漁業及び食料品製造業の事業所数と従業者数の変化

2009年の事業所数を1としたときの 2014年の事業所数の割合	1.31
2009年の従業者数を1としたときの 2014年の従業者数の割合	1.46

(総務省ホームページから作成)